

AICA

第120期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

CHEMICAL PRODUCTS
CONSTRUCTION & HOUSING MATERIALS

アイカ工業株式会社

証券コード：4206

■ 株主の皆様へ

「挑戦と創造」の精神のもと、
たゆまぬ成長を実現してまいります。

A man with grey hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie, stands in front of a wall with large, light-colored stone tiles. The AICA logo is prominently displayed on the wall behind him.

AICA

代表取締役 社長執行役員

小野勇治

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第120期第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年9月30日）の営業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しましたが、輸出や生産には弱さが見られ、先行きの不透明感が高まりました。また、アジア・オセアニア地域の経済は、中国においては、米中間の通商問題が経済成長の鈍化を招き、インドネシア・タイ・インドなどの地域においては、個人消費を中心とした堅調な内需を牽引役に緩やかな成長が継続しているものの、輸出に弱さが見られるなど一部で減速感が高まりました。

国内建設市場においては、住宅着工は、低水準で推移する住宅ローン金利や政府による住宅支援策などにより、持ち家は増加しましたが賃貸住宅の減少が大きく、全体としては減少しました。非住宅関連は、景気の先行き不透明感から企業の設備投資にやや減速傾向が見られ工場の着工面積が減少し、人手不足や消費増税対応を背景として店舗・飲食サービス業の新規出店数も減少したことから前年を下回りました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「C&C 2000」の方針に基づき、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野の育成、アジア・オセアニア地域における接着剤やメラミン化粧板の販売強化などを推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高91,848百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益10,005百

万円（同3.5%増）、経常利益10,502百万円（同3.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,582百万円（同8.9%増）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては1株当たり49円といたしました。

今後の景気動向につきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されますが、米中間の通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方などの海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要があります。

当社グループは、このような経営環境を十分認識し、経済動向に左右されない収益基盤の強化を図るため、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野として機能材料事業の強化などを推進してまいります。また、海外事業につきましては、2019年11月1日、株式会社日本政策投資銀行と共同で、グローバルメラミン化粧板メーカーWilsonart社（ウィルソナート社）が保有するアジアの事業会社4社の株式を譲り受ける契約を締結いたしました。これにより、当社グループは、アジア・オセアニア地域におけるメラミン化粧板の生産拠点、販売網、ブランド力を獲得し、海外における建築建材事業のプラットフォームが格段に整備されることとなります。今後は双方の生産技術や商品開発力を融合し、付加価値の高い商品を市場に投入することで、より一層の拡大を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

CONTENTS

株主の皆様へ…………… 1	財務情報…………… 5	企業活動のご案内…………… 7
セグメント別のご案内…………… 3	連結貸借対照表（要約）	会社の概要…………… 8
	連結損益計算書（要約）	株式の状況…………… 9
	連結キャッシュ・フロー計算書（要約）	株主メモ…………… 10

セグメント別のご案内

化成品セグメント

売上高

51,349百万円

55.9%

【売上高構成比】

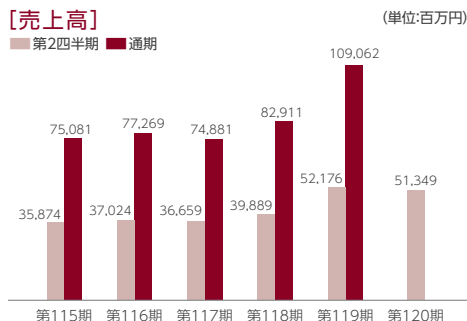
接着剤系商品は、国内においては施工用接着剤が好調に推移し売上を伸ばすことができました。一方、海外においては世界経済の減速により接着剤・産業用樹脂の需要に弱さがあり、また、原材料価格低下により販売価格が低下しましたが、前第2四半期連結会計期間より連結業績に組み入れたタイ・ケミカル・コーポレーション社が寄与し、売上を伸ばすことができました。

建設樹脂系商品は、橋梁・土木用の補修・補強材「ダイナミックレジン」が前年を下回ったものの、外壁タイルの剥落防止工法である「タフレジッククリアガード工法」や、新築住宅向けの外装・内装仕上塗材「ジョリパット」、高耐久塗り床材「アイカピュール」が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内会社においては、塗料・繊維用途のアクリル・コンパウンド製品や工業用途の有機微粒子が前年を下回りましたが、電子材料用UV樹脂やシリコン製品が好調で、前年を上回りました。前年より連結業績に組み入れたエバモア・ケミカル・インダストリー社については、低採算取引の見直しや原材料価格低下による販売価格の低下により売上は前年を下回りましたが、利益率の高いビジネスに注力することで利益は大幅に増加しました。

このような結果、売上高は51,349百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は3,955百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

【売上高】



外装・内装仕上塗材 ジョリパット
物件名:トラスコ中山株式会社 京都 神楽岡 運月荘
設計:株式会社日建設計
撮影:堀内 広治



外壁タイル剥落防止工法 タフレジッククリアガード工法
物件名:三豊市役所本庁舎 (香川県)

建装建材セグメント

44.1%

【売上高構成比】

売上高

40,498百万円

メラミン化粧板は、国内においては店舗の出店抑制などによる非住宅建設着工面積減少の影響から売上が前年を下回りましたが、海外においては、タイやベトナムを中心に売上を伸ばすことができました。また、当第2四半期連結会計期間より連結業績に組み入れた中国の化粧板商社ソイス社が寄与し、全体としては売上を伸ばすことができました。

ボード・フィルム類は、粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」は好調でしたが、汎用的なポリエステル化粧合板が苦戦し、前年を下回りました。

メラミン不燃化粧材「セラルル」は、キッチンパネル用途が好調に推移するとともに、教育施設や工場・倉庫、オフィス、公共施設などの新築・改修需要を獲得し、加えて、駅のトイレや医療福祉施設、商業施設などでは「セラルル消

臭タイプ」の採用が拡大したことから前年を上回りました。

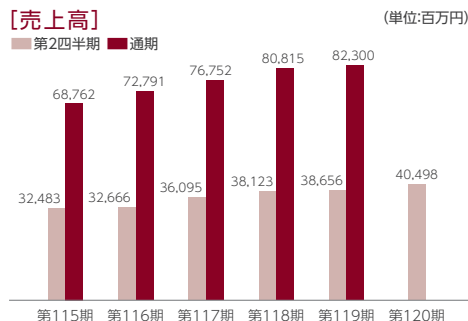
不燃建材は、ビル外装用途の押出成型セメント板の売上を伸ばすことができました。

カウンター・ポストフォーム商品は、人工大理石「コーリアン」が洗面・キッチン用途や幼児用手洗いカウンター用途を取り込み好調であることに加えて、茨城の新工場で製造を開始した高級人造石「フィオレストーン」がキッチン・洗面カウンター用途で天然石の代替品としての需要を獲得し、売上を伸ばすことができました。

建具・インテリア建材は、住宅着工件数減少の影響を受け住宅向け建具が苦戦し、前年を下回りました。

このような結果、売上高は40,498百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は7,406百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

【売上高】



粘着剤付化粧フィルム オルティノ

物件名:新虎通りCORE

設 計:株式会社大林組一級建築士事務所



メラミン不燃化粧材 セラルル

物件名:msb Tamachi 田町ステーションタワーS

設 計:株式会社三菱地所設計

財務情報

■ 連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	第120期 第2四半期 2019年9月30日現在	第119期 (前期) 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	125,024	129,888
固定資産	64,191	61,136
有形固定資産	43,107	40,949
無形固定資産	4,666	3,104
投資その他の資産	16,417	17,082
資産合計	189,215	191,025
負債の部		
流動負債	44,408	48,254
固定負債	7,083	6,655
負債合計	51,491	54,909
純資産の部		
株主資本	124,830	121,904
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,280	13,279
利益剰余金	103,666	100,739
自己株式	△2,008	△2,007
その他の包括利益累計額	3,193	4,562
その他有価証券評価差額金	3,869	4,307
繰延ヘッジ損益	△4	△5
為替換算調整勘定	△791	60
退職給付に係る調整累計額	119	199
新株予約権	27	27
非支配株主持分	9,673	9,622
純資産合計	137,724	136,116
負債純資産合計	189,215	191,025

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	第120期 第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	第119期 第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで
売上高	91,848	90,832
売上原価	67,411	67,328
売上総利益	24,436	23,504
販売費及び一般管理費	14,430	13,833
営業利益	10,005	9,670
営業外収益	891	747
営業外費用	394	308
経常利益	10,502	10,109
特別損失	18	400
税金等調整前四半期純利益	10,484	9,709
法人税、住民税及び事業税	2,989	2,796
法人税等調整額	205	339
四半期純利益	7,289	6,574
非支配株主に帰属する 四半期純利益	706	529
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,582	6,044

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

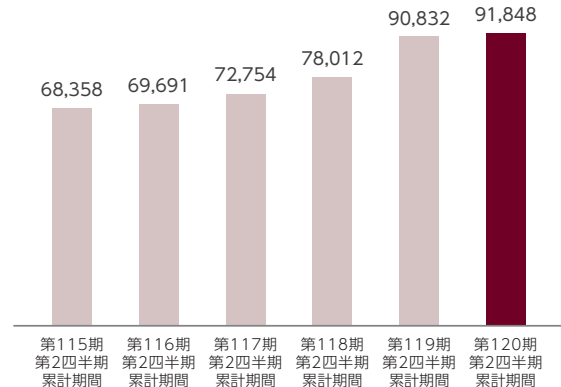
(単位：百万円)

科 目	第120期 第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	第119期 第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	8,651	6,833
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,593	△4,031
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,326	△4,029
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△203	△672
現金及び現金同等物の 増減額	△1,472	△1,899
現金及び現金同等物の 期首残高	45,379	48,896
現金及び現金同等物の 四半期末残高	43,906	46,996

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

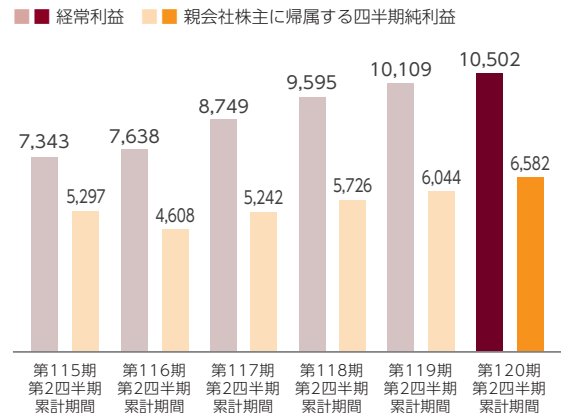
■ 売上高

(単位：百万円)



■ 経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)



■ 配当について(剰余金処分)

当期の中間配当金は、1株当たり49円といたしました。

期末配当につきましては、1株当たり57円を予想しております。

企業活動のご案内

Corporate Activities

ベトナム初のメラミン化粧板製造工場～アイカ・ラミネーツ・ベトナム社 新工場が完成

当社グループ会社アイカ・ラミネーツ・ベトナム社（ALV社）は、業界ではベトナム初となるメラミン化粧板製造工場をドンナイ省に設置、5月より稼働を開始いたしました。

新工場は、中期経営計画「C&C 2000」の方針の一つ“ジャパノテクノロジーの海外展開”に沿った、アジア地域におけるメラミン化粧板およびメラミン不燃化粧板の拡販推進の重要な戦略拠点となります。

当社グループは、海外建築建材事業の統括会社アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社を中心に、ベトナムのほか、インド・インドネシアの3カ国の海外生産拠点を活用することで、ビジネスの現地化を進め、アジア地域における建築建材事業の飛躍的な成長を目指してまいります。



新工場の外観

■ 新工場の概要

所在地	Nhon Trach 3 IP, Hiep Phuoc Ward, Nhon Trach Dist, Dong Nai Province, Vietnam (ベトナム社会主義共和国 ドンナイ省 ニョンチャック3工業団地)
延床面積	11,318㎡
稼働開始	2019年5月22日
総投資額	2,400万USドル (約26億円)



開所式の様子

表面にメラミン化粧板を使用したフロア材 「メラミンタイル」を発売、床市場に新規参入

当社は、メラミン化粧板を表面に使用し、その強さと塩ビ基材の施工性を兼ね備えた新たなフロア材「メラミンタイル」を開発、7月より販売を開始いたしました。

「メラミンタイル」は、メラミン化粧板の伸縮性を特殊なアクリル樹脂を使用することで抑制し、塩ビ系フロア材の特性にメラミン系素材の長所を加えた新しい床材です。表面にメラミン化粧板を使用していることから高い硬度を有し、また汚れがつきにくくワックスがけも不要なため、日々の清掃負担が軽減され、施設運営者のコスト削減に貢献します。さらに、オフィス・商業施設などに広く採用されているセラミックタイルに比べ重量が約1/3と軽く、施工性にも優れており、職人の作業負担も軽減します。

当社は、「メラミンタイル」により、非住宅における床市場に新規参入し、床から家具・什器や壁面まで、空間デザインにおけるトータル提案力を高めてまいります。



「メラミンタイル」施工イメージ

会社の概要 (2019年9月30日現在)

Company Information

プロフィール

社名	アイカ工業株式会社
本社	名古屋市中村区名駅一丁目1番1号J Pタワー名古屋26階 電話 052(533)3131(代表)
本店所在地	愛知県清須市西堀江 2288 番地
設立	昭和 11 年 10 月 20 日
資本金	98 億 9,170 万円
事業所	
生産拠点	名古屋工場 (愛知県) 甚目寺工場 (愛知県) 福島工場 (福島県) 伊勢崎工場 (群馬県) 茨城工場 (茨城県) 丹波工場 (兵庫県) 広島工場 (広島県)
開発拠点	名古屋 R & D センター (愛知県) 甚目寺第一 R & D センター (愛知県) 甚目寺第二 R & D センター (愛知県) 福島 R & D センター (福島県) 伊勢崎 R & D センター (群馬県) 茨城 R & D センター (茨城県) 小牧 R & D センター (愛知県) 丹波 R & D センター (兵庫県)
営業拠点	札幌支店 仙台支店 盛岡営業所 東京支社 埼玉支店 横浜支店 千葉支店 北関東支店 松本営業所 宇都宮営業所 新潟営業所 名古屋支店 静岡支店 北陸支店 大阪支店 神戸支店 京都営業所 広島支店 四国支店 福岡支店 鹿児島支店

連結子会社

会社名	アイカインテリア工業株式会社 (愛知県) アイカハリマ工業株式会社 (兵庫県) 西東京ケミックス株式会社 (東京都) アイカテック建材株式会社 (東京都) アイカインドネシア社 (インドネシア) テクノウッドインドネシア社 (インドネシア) 昆山愛克樹脂有限公司 (中国) 瀋陽愛克浩博化工有限公司 (中国) 愛克樹脂貿易 (上海) 有限公司 (中国) アイカ・ラミネーツ・インディア社 (インド) アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社 (シンガポール) アイカ・ラミネーツ・ベトナム社 (ベトナム) アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社 (タイ) エバモア・ケミカル・インダストリー社 (台湾)
-----	--

主要製品

化成セグメント 外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

建築建材セグメント メラミン化粧板、化粧合板、室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材、押出成形セメント板、他

取締役・監査役および執行役員

代表取締役 社長執行役員	小野 勇 治
取締役 専務執行役員	百々 聡
取締役 専務執行役員	岩瀬 幸 廣
取締役 常務執行役員	大村 信 幸
取締役 常務執行役員	森 良 二
取締役 常務執行役員	海老原 健 治
○取締役	小倉 健 二
○取締役	花村 淑 郁
常勤 監査 役	岩田 照 徳
常勤 監査 役	小瀬 村 久
○監査 役	片桐 清 志
○監査 役	宮本 正 司
上 席 執 行 役 員	堀田 益 之
上 席 執 行 役 員	木場 健 夫
上 席 執 行 役 員	岩塚 祐 二
上 席 執 行 役 員	Rein Meijer
執 行 役 員	Chew Teck Liong
執 行 役 員	天 野 利 通
執 行 役 員	吉 村 利 康
執 行 役 員	石 井 直 美
執 行 役 員	西 尾 良 治
執 行 役 員	石 井 寛 之

(注) ○印は社外取締役、○印は社外監査役であります。

株式の状況 (2019年9月30日現在)

Stock Information

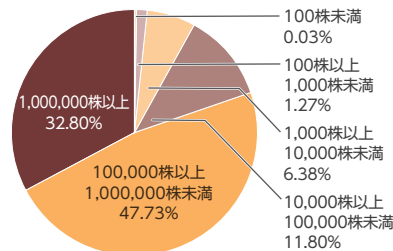
- 1.株式の総数 発行可能株式総数 116,577,000株
発行済株式の総数 67,590,664株
- 2.株主数 6,638名
- 3.大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,051	9.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,537	6.95
アイカ工業取引先持株会	2,188	3.35
アイカ工業株式保有会	1,501	2.30
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	1,464	2.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,376	2.11
住友生命保険相互会社	1,318	2.02
THE BANK OF NEW YORK MELLON(INTERNATIONAL)LIMITED 131800	1,307	2.00
株式会社三菱UFJ銀行	1,300	1.99
大日本印刷株式会社	1,293	1.98

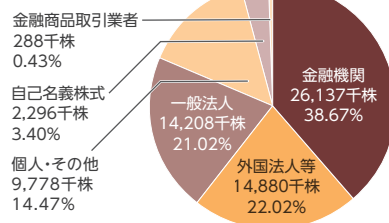
(注) 1.当社は、自己株式2,296千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2.持株比率は、自己株式2,296千株を控除して計算しております。

4.株式分布状況

[所有株数別]

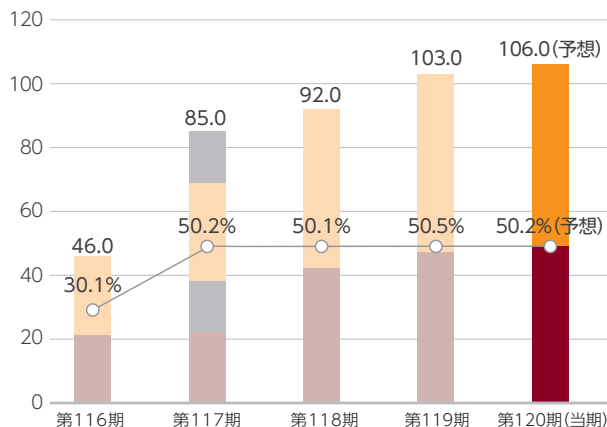


[所有者別]

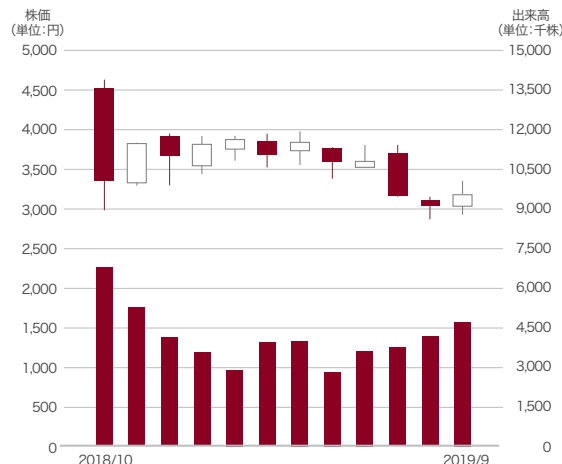


配当金の推移

(単位:円) ■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念配当 ○ 連結配当性向



株価・売買出来高の推移 (東京証券取引所)



事業年度 4月1日～翌年3月31日

基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)

〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

名古屋証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告により行います。公告掲載URL <http://www.aica.co.jp/>

(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

〈ご注意〉

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取（買増）請求 ・住所・氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定（※） 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	手続き書類のご請求方法 ●証券代行部テレホンセンター 電話 0120-232-711 ●インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ・上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等	にお問合せください。

AICA

化学とデザインで面白いこと

